

≪最近の県内経済≫ (2026年6月を中心として)

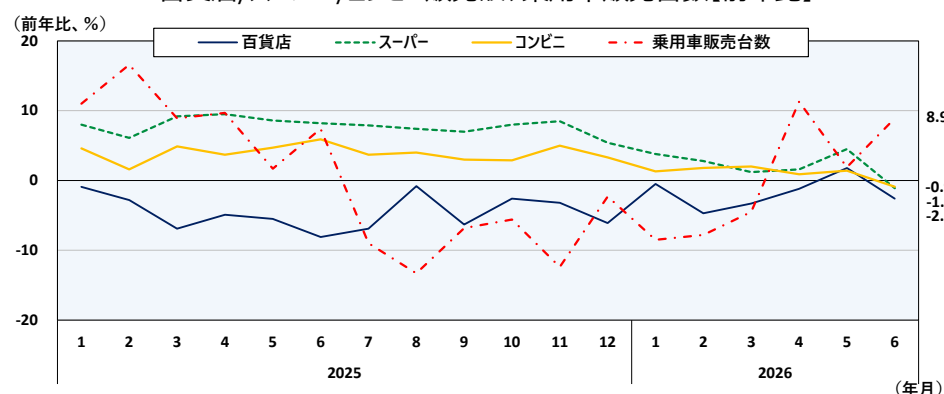
今月の概要

中東情勢の影響から先行きは不透明ながら、
足許は緩やかに回復している



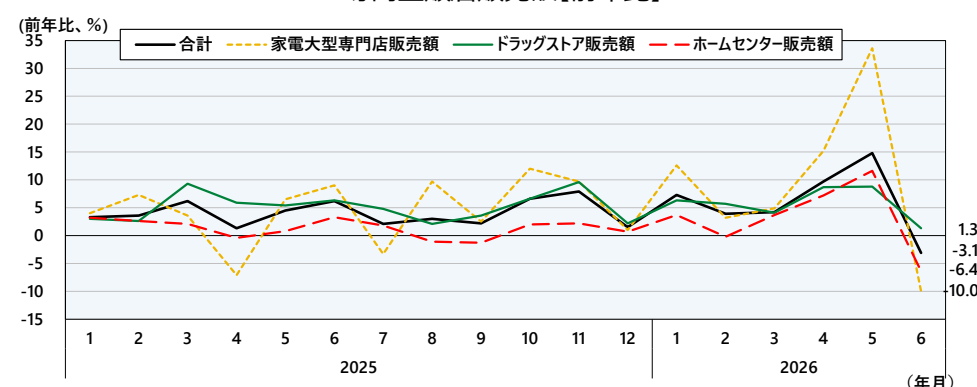
1 個人消費 ～緩やかに持ち直している

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、緩やかに持ち直している。

6月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）をみると、百貨店は113億円で前年比2.6%減（2か月ぶりの減少）、スーパーは1,142億円で同1.1%減少（45か月ぶりの減少）した。また、コンビニ販売は596億円で同0.9%減少（26か月ぶりの減少）した。天候不順の影響もあり、販売額が伸び悩んだ。

乗用車販売は、前年比8.9%増と3か月連続の増加となった。内訳をみると、普通車が同13.6%増（3か月連続の増加）、小型車が同17.8%増（3か月連続の増加）、軽自動車と同2.1%減（3か月連続の減少）となった。

普通車、小型車の一部車種において、新型車が販売増に寄与した。

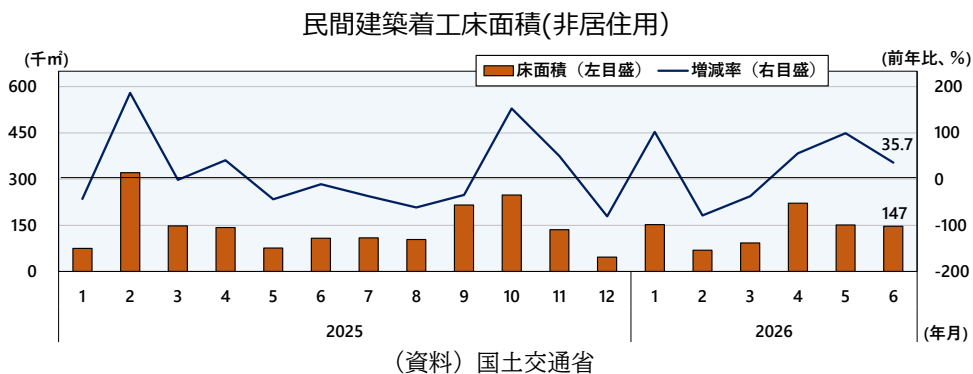
6月の専門量販店販売額は842億円で前年比3.1%減と45か月ぶりに減少した。内訳をみると、家電大型専門店が187億円で同10.0%減（11か月ぶりの減少）、ドラッグストアが469億円で同1.3%増（49か月連続の増加）、ホームセンターが186億円で同6.4%減（4か月ぶりの減少）となった。

家電大型専門店では、エアコンについて、2027年問題（省エネ基準の大幅引上げ）もあって春先から買い替え需要が増加していた反動で減少した。

ホームセンターでは、天候不順の影響から来店客が伸びず、夏物季節商品の販売も低調だった。

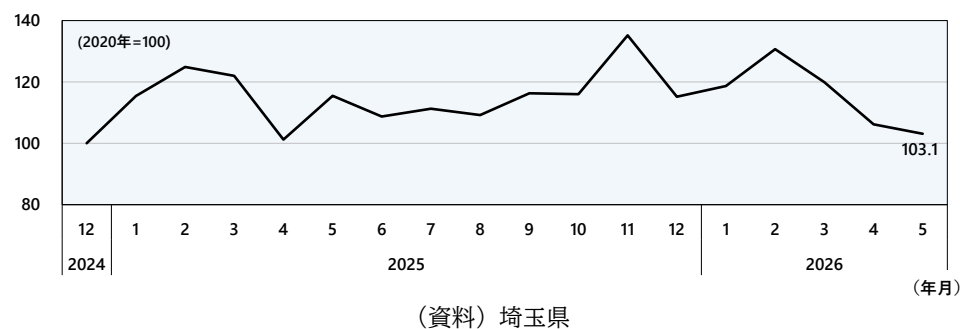
関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、5月〈33.8〉6月〈34.4〉、7月〈35.2〉と推移している。

2 設備投資～増加基調にある ➡



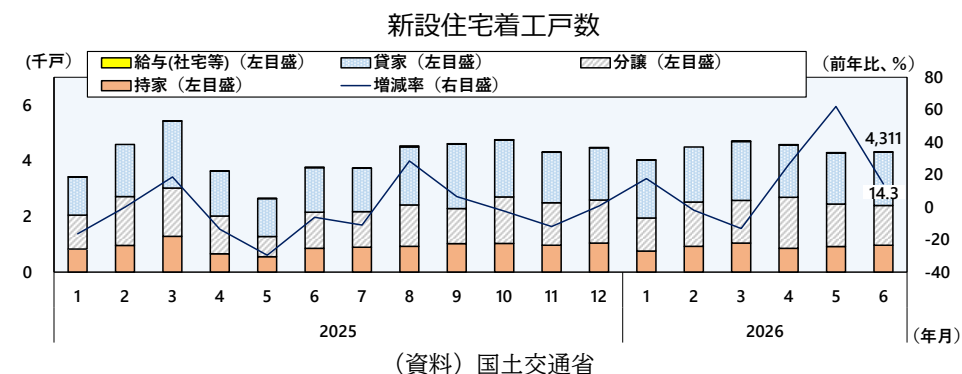
6月の民間建築着工床面積(非居住用)は、147千㎡で前年比35.7%増加した(5か月後方移動平均では、前年比14.3%減少)。用途別にみると、倉庫・病院・診療所は減少したものの、事務所、店舗、工場及び作業場、学校の校舎は増加した。

資本財出荷指数(季節調整済)



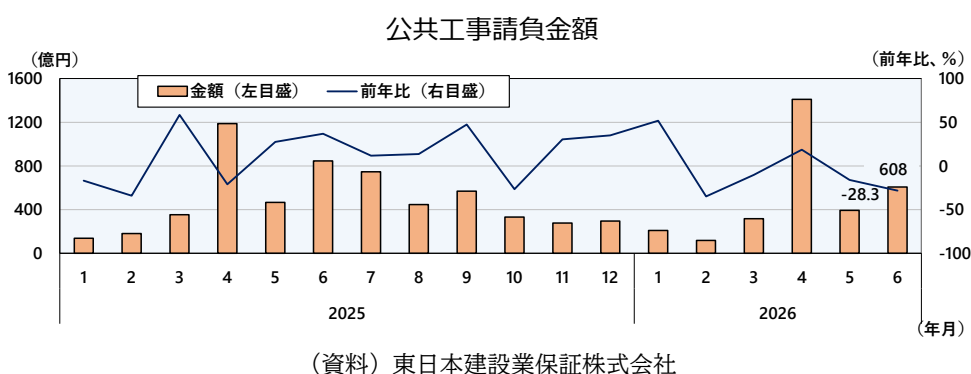
5月の資本財出荷指数(季節調整済)は103.1で、前月比2.9%減少した(5か月後方移動平均では、115.7で前年比0.1%減少)。

3 住宅建設～弱含んでいる ➡



6月の新設住宅着工戸数は、前年の落込みの反動もあって4,311戸で前年比14.3%増加した(5か月後方移動平均でも、4,476戸、前年比11.6%増)。利用関係別にみると、持家(965戸)が同13.3%増、貸家(1,917戸)が同19.9%増、分譲マンション(364戸)が同23.4%増、分譲一戸建て(1,037戸)が同5.7%増となった。

4 公共工事～底堅く推移している ➡

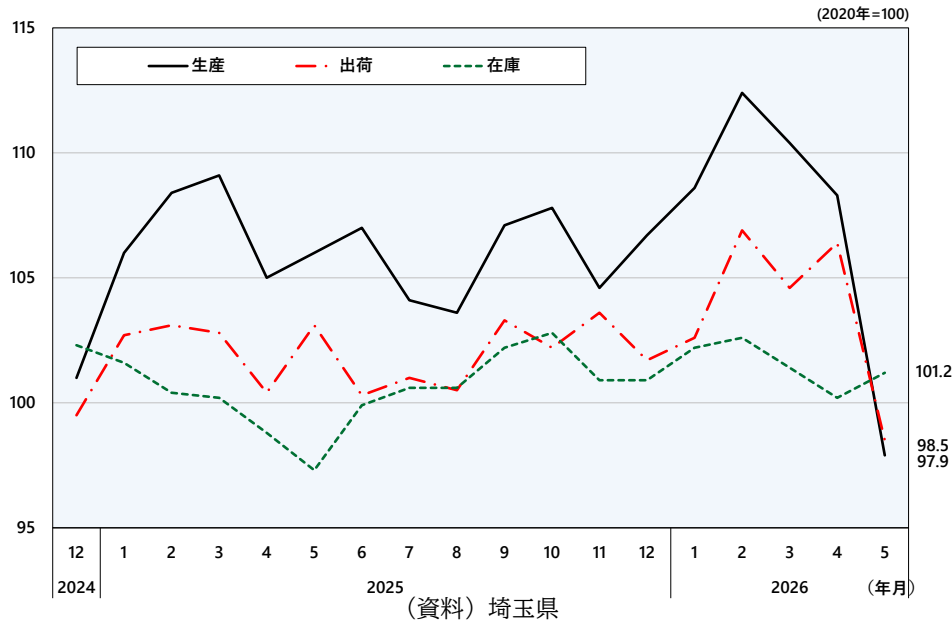


6月の公共工事請負額は608億円、前年比28.3%減少した。5か月後方移動平均では、570億円、前年比6.3%減で推移。

発注者別の前年比をみると、国、独立行政法人等、都道府県、市区町村、地方公社、その他のいずれも減少した。

5 生産活動～底堅く推移している ➡

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



5月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、97.9で前月比9.6%低下(3か月連続の低下)した。

汎用機械(空気圧機器、コンベヤ)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、衛生用紙)などが上昇したが、輸送機械(航空機用部品、懸架制動装置部品)、化学(医薬品、化粧品)などが低下した。

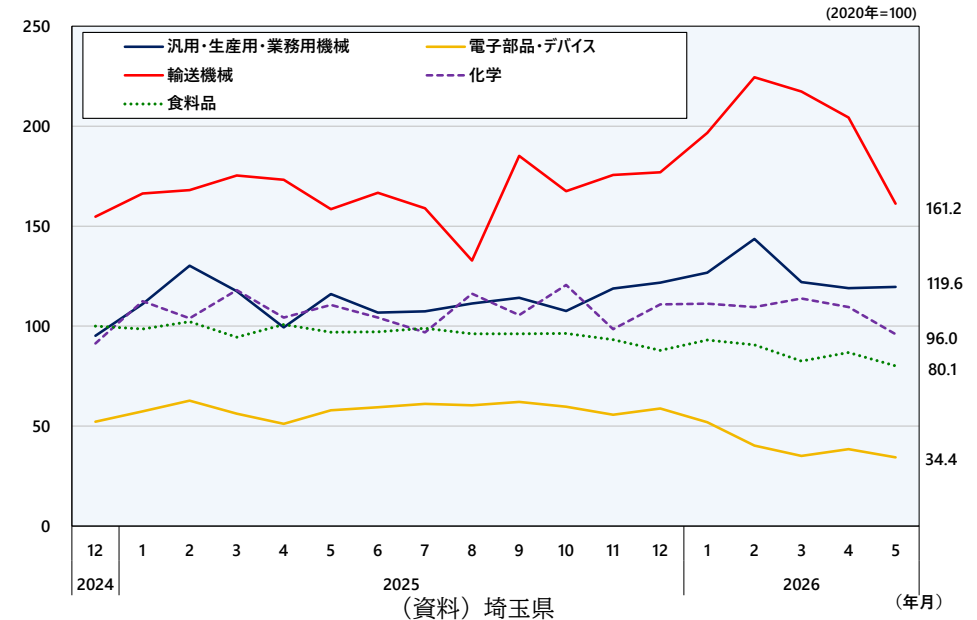
出荷指数(同)は、98.5で同7.4%低下(2か月ぶりの低下)した。

汎用機械(空気圧機器、コンベヤ)、印刷(おう版印刷(グラビア印刷)、平版印刷(オフセット印刷))などが上昇したが、化学(医薬品、化粧品)、輸送機械(航空機用部品、懸架制動装置部品)などが低下した。

在庫指数(同)は、101.2で同1.0%上昇(3か月ぶりの上昇)した。

電気機械(電気計器、鉛蓄電池)、電子部品・デバイス(混成集積回路、光電変換素子)などが低下したが、情報通信機械(金銭登録機(端末機能付)、ガス警報器)、生産用機械(整地機械、研削盤)などが上昇した。

主要業種の生産指数(季節調整済)



・汎用・生産用・業務用機械の生産指数(季節調整済)は、119.6で前月比0.5%上昇し、3か月ぶりの上昇となった。

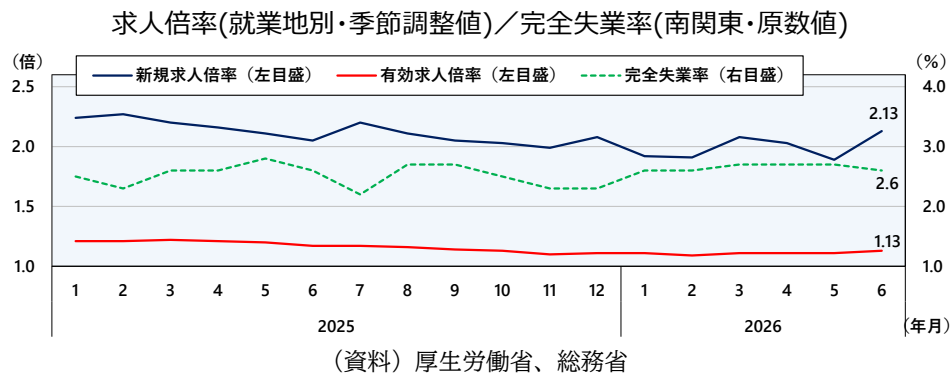
・電子部品・デバイス(同)は、34.4で同10.6%下降し、2か月ぶりの下降となった。

・輸送機械(同)は、161.2で同21.1%下降し、3か月連続の下降となった。

・化学(同)は、96.0で同12.3%下降し、2か月連続の下降となった。

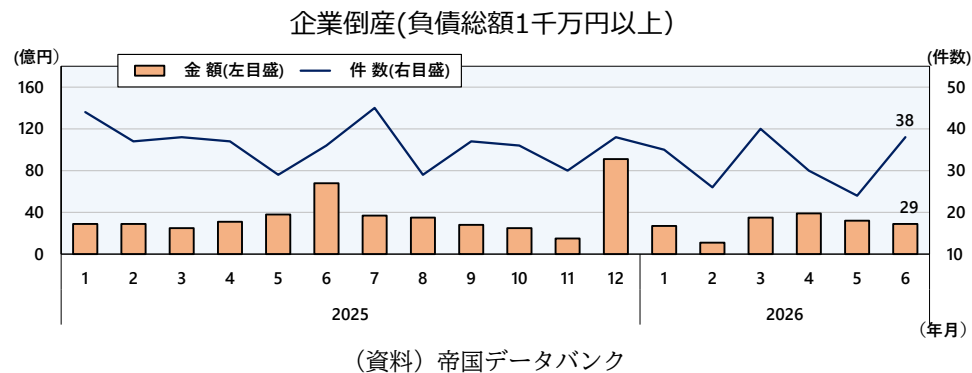
・食料品(同)は、80.1で同7.7%下降し、2か月ぶりの下降となった。

6 雇用情勢 ～緩やかに持ち直している ➡



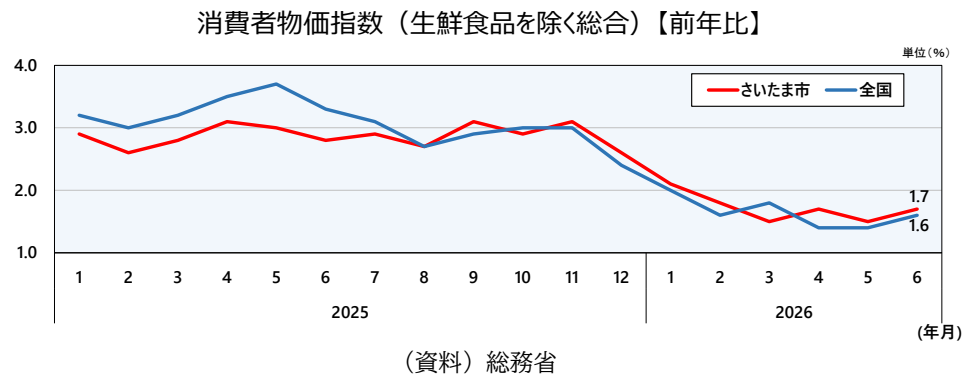
6月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.13倍で前月比0.02ポイント上昇した。
 新規求人倍率(同)は、2.13倍で同比0.24ポイント上昇した。
 また、完全失業率(南関東、原数値)は、2.6%で前年同月比横ばいとなった。

7 企業倒産 ～緩やかな増加基調にある ➡



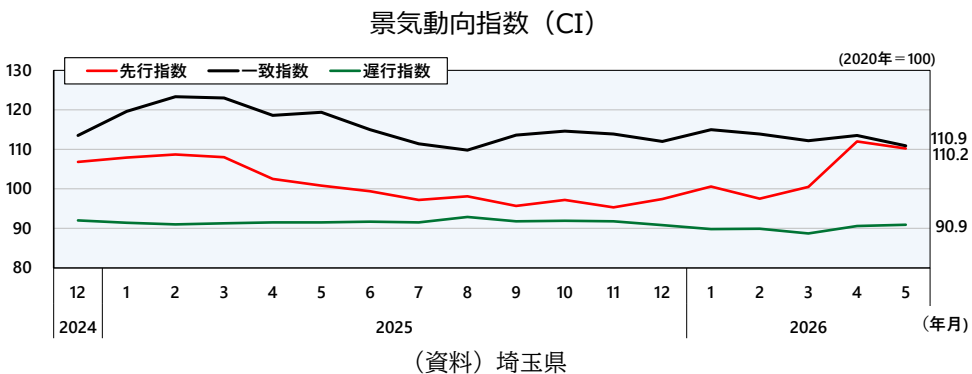
6月の企業倒産件数は38件で前年同月比2件増加した。また、負債総額は29億円
 で同比39億円減少した(5か月後方移動平均では、件数は前年比3件減少、負債総
 額は9億円減少)。
 業種別にみると、サービス業が最多で13件、次いで建設業が9件、小売業が7件
 となっている。主因別では、販売不振が36件となっている。

8 消費者物価 ～緩やかに上昇している ➡



6月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、111.8で前年同月比1.7%上
 昇した(57か月連続の前年同月比上昇)。
 食料(調理食品(弁当など))、交通・通信(自動車等関係費(自動車整備費
 (パンク修理)など))などが上昇し、全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI)～下方への局面変化を示している



- ・5月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、110.9で前月比2.6ポイント下降し、2か月
 ぶりの下降となった。
- ・CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、110.2で同1.8ポイント下降し、3か月ぶり
 の下降となった。
- ・CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、90.9で同0.3ポイント上昇し、2か月連続の
 上昇となった。